

# ワーキンググループの検討状況について

## ① 中心拠点あり方検討ワーキング会議

目 的：現行の小牧市都市計画マスタープラン及び小牧市立地適正化計画において中心拠点と位置づける小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺一帯のエリアについて、まちなか居住、広域的な都市機能の集積、観光交流、景観等、にぎわいと活気に満ちた本市の顔にふさわしい中心拠点のあり方について検討

構 成 員：秘書政策課、シティプロモーション課、商工振興課、道路課、建築課、みどり公園課、教育総務課及び都市政策課長

### ● 第 1 回ワーキング会議

開催日時 平成 30 年 8 月 30 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分

会議内容

- ・ 中心拠点の現状確認（人口、土地利用等の基礎的データの確認）
- ・ 中心拠点のあるべき姿について意見交換 等

< 中心市街地のあるべき姿に関する意見等 >

- ◆ まちなか居住は今後も重要
- ◆ 後継者がいないなどで商売を廃業した土地にマンションが建設されることも想定され、商業機能の集約と人口誘導の相反する状況が生じる（まちなか居住が進む一方で商業機能が低下する懸念）。
- ◆ 小牧駅と小牧山は市のブランド
- ◆ 中心拠点でのまちなか居住が進む一方で、桃花台ニュータウン等の他の居住誘導区域での人口減少が懸念される。

< 今後の予定（2 回目以降） >

- 市民アンケート結果の確認
- 中心拠点の課題と今後のまちづくりの方向性について
- 検討のとりまとめ 等

## ②産業系土地利用検討ワーキング会議

目 的：産業フレームの設定、必要に応じた市街化調整区域における工業系土地利用のあり方等、将来都市構造の検討における産業（工業）系市街地の考え方について検討

構 成 員：秘書政策課、農政課、商工振興課、企業立地推進課、道路課、建築課及び都市政策課長

### ● 第1回ワーキング会議

開催日時 平成30年8月31日（金）13時30分～15時30分

会議内容

- ・工業系用途地域内及び産業候補地区の土地利用実態の確認
- ・愛知県の産業フレーム制度、市街化調整区域地区計画ガイドラインについて
- ・目標とすべき産業フレームの検討
- ・その他意見交換 等

<産業系土地利用全般に関する意見等>

- ◆ 都市的低・未利用地の活用など市街化区域内での土地利用を前提とした上で、必要に応じ市街化調整区域での土地利用の適正な誘導は必要ではないか。
- ◆ 必要となる工業系市街地の規模については、上位計画となる尾張都市計画区域マスタープランと同様な考え方で設定する必要がある。
- ◆ 新たに形成する産業系市街地は、現行計画と同様にゾーンで示してはどうか。
- ◆ ゾーンの設定には優良農地等の保全の観点を踏まえる必要がある。

<今後の予定（2回目以降）>

- 目標とすべき産業フレームの設定
- 産業立地適正度の評価について
- 産業用地の規模・配置の基本方向について
- 検討のとりまとめ 等

### ③ 桃花台地域拠点あり方検討ワーキング会議

目的：現行の小牧市都市計画マスタープラン及び小牧市立地適正化計画において地域拠点と位置付ける桃花台ニュータウンについて、今後の本格的な少子高齢化の進展等を踏まえ、地区計画等の土地利用規制の変更を視野に入れ、日常生活に必要な店舗等の立地規制の緩和や空き家の活用等、定住につながる地域拠点のあり方について検討

構成員：秘書政策課、商工振興課、市民安全課、建築課、教育総務課及び都市政策課長

#### ● 第1回ワーキング会議

開催日時 平成30年9月6日（金）13時30分～15時00分

会議内容

- ・ 桃花台ニュータウンの現状確認（人口、都市計画上の位置づけ、公共交通網等の基礎的データの確認）
- ・ 少子高齢化に伴う課題及び課題への対応に関する意見交換（洗い出し） 等

< 桃花台ニュータウンが抱える課題に関する意見等 >

- ◆ 高齢化により、桃花台の中心にある商業施設に行くことが難しくなる。
- ◆ 桃花台の住環境は整っていると考えるが、若者の定住が課題である。
- ◆ 人口減少により、空き家の増加が懸念されるほか、場合によっては、児童数の減少による小中学校の統廃合や、県営住宅等マンションの跡地利用の問題も出てくると考える。
- ◆ 20・30歳代の子育て世代の減少が実態として問題である。
- ◆ 地域ブランドや定住促進に取り組んでいるが、即効性がない。
- ◆ 桃ヶ丘小学校、篠岡小学校や光ヶ丘小学校の児童数が減少傾向にある。
- ◆ 現在でも下校時間帯は人気が少ない、防犯上心配との声もあるが、今後ますます人口減少が進むと防犯上の課題が顕著化すると考えられる。
- ◆ 高齢化が進み、車の運転ができなくなると交通の便が悪くなる。公共交通網の整備が課題。
- ◆ 子育て世代にとっては高校への通学事情が、定住につながるうえでの課題と考える。

< 課題への対応に関する意見等 >

- ◆ 買物難民の発生を防ぐためには、移動販売も解決策の一つと考えられる。
- ◆ 高蔵寺ニュータウンでの取り組みは参考になると思うが、JRの鉄道駅や中部大学が近くにあるなど、桃花台ニュータウンとは条件が異なる部分があることを踏まえる必要がある。
- ◆ 仮に商店が立地してもすぐに閉店するようでは意味がなく継続させることが必要。いかに人を集めるかがポイントとなる。
- ◆ 定住促進に向け、職住近接となるよう企業誘致を図ることも考えられる。
- ◆ 高蔵寺ニュータウンでの自動運転実証実験など、マスコミを利用したまちの魅力等の情報発信
- ◆ 他地域からの転入にはまちの魅力のPRが必要

< 今後の予定（2回目以降） >

- 市民アンケート結果の確認
- 桃花台地域拠点の課題と今後のまちづくりの方向性についての整理
- 検討のとりまとめ 等